

# 「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「県伊祭の・・・ゴールは・・・実は・・・決まっている！」～

県立伊丹高校1学期最大の行事「県伊祭」の準備が本格的にスタートします。  
「スタート」ということは・・・当然・・・「ゴール」に向けて・・・ということですよ。  
では「県伊祭」の「ゴール」って何ですか？

**県伊祭の「ゴール」とは……実は……決まっています！！**

そして・・・毎年先輩たちは・・・その「ゴール」にたどりついています。  
「ゴールは決まっている」ということは・・・

後は・・・これから準備や練習の途中で起こる、上手くいかないこと、問題など・・・全ては、ゴールを感動的なものにするための過程（プロセス）になります。

そんな君たちに・・・今回は、「伝説のコンサルタント」いわれている福島正伸さんの話です。

福島先生は、ご兄弟で経営している会社から、このような相談を受けました。  
「兄弟で会社をやっていることもあり、とにかくケンカが絶えないんです。  
なにかいい方法はないでしょうか？」  
兄弟だけに遠慮のないケンカに発展し、子供の頃の話までさかのぼって  
のケンカになるのだそうです。



福島先生はその方にこう答えました。

「ゴールを決めてください。ほんとは、どうしたいのか？」

その兄弟の答えは・・・

**「今はケンカがたえないけど、最後はともに涙を流し合ってわかりあい、力を合わせて経営していきたい」**

とのことでした。

「じゃあ、もう、そこに向うと決めてください」

と福島先生は言いました。

「決めましたか？」

と聞くと……………兄弟は……………

**「決めました！」**

と答えました。すると福島先生はいいました。

「じゃあ今日から思いっきりケンカしていいですよ^^」

**「え？」**

「ゴールは兄弟で涙を流して抱き合うと決めただからあとは、それまでの過程。そこにいたるまでのプロセスだからいくらでもケンカしていいですよ。」と。



「最初は、やり方はわからなくていいんです。

最初に考えるのはやり方ではなく、方法ではなく、ほんとはどうしたいのか？

そこを最初に決めるんです。現状から考えるんじゃなくて、ほんとはどうしたいのか？

心から辿り着きたい理想から……逆算するんです。」

（「心にズドン！と響く『運命』の言葉」 ひすいこたろう 王様文庫より）

「ある国に、それはそれは美しいお姫様がいました。そして、同じくイケメンの王子様がいました。ふたりはパーティで出会い一目惚れ。結婚して幸せに暮らしました。こんな感じで、お姫様が王子様と出会うラブストーリーの映画」ってどうですか？面白くも感動もないですよ。

映画や物語を面白くするには、感動的にするためには「**困難**」が欠かせないんです  
さて……………県伊祭の「ゴール」は……………決まりましたか？

決まったなら……………後はどんな問題や困難がやってきても……………

**そう！大丈夫！前を向いて進んでいこう！**

